

目次

はしがき

序章 「一带一路」と国際秩序……………	浅野 亮……………
---------------------	-----------

——問題の設定——

1 本書の立ち位置——「一带一路」の捉え方……………	3
2 国際秩序に関する考察——LIO、相互依存、「安全保障のジレンマ」、覇権を手がかりに本書の背景と枠組み……………	13
3 「一带一路」とその背景としての国際秩序——そのダイナミズム 史、地域・国際関係、領域……………	三つの座標軸——歴
4 本書の構成……………	15

第I部 歴史から見る「一带一路」

第1章 国際秩序と「一带一路」……………	浅野 亮……………
----------------------	-----------

——中国の対外政策方針の変化をめぐって——

1 「一带一路」構想の構築……………	24
--------------------	----

事前の検討と開始に関する推定 対米政策としての「二帯一路」 ロシア・ファクタ― 「二帯一路」という名称

2 対外政策方針の変更と「二帯一路」 35

対外政策方針の変更の背景 対外政策方針の転換——習近平訪米から中央外事工作会議へ

3 「二帯一路」の意味づけの変遷 40

「拡大」と「進化」の実態——学習プロセス 後づけか、当時からの考慮か

4 中国主導の国際秩序構築への模索 44

第2章 「平和的な秩序変更」の理論は政策決定の基盤となりうるか……………中谷直司… 53

——戦間期の平和構想と現代の戦争原因論との比較歴史分析——

1 戦間期の平和的変更論 55

暴力なき平和を実現するには——戦間期の二つの平和構想 戦間期平和構想の時代背景——現代戦の衝撃

2 交渉理論——現代の平和的秩序変更論 59

合理的選択論の戦争原因論——私的情報、コミットメント問題、そして価値の不可分性 交渉理論に含まれる平和構想 現代の戦争原因論と戦間期の平和構想の共通点と相違点

3 国内の平和は暴力なしに実現したのか——英米の労働運動史とアメリカ合衆国の州間の平和 66

間接アプローチによる検証 英労働運動史と暴力 アメリカ合衆国内の州間の平和と暴力 南北戦争後の州間の平和および米労働運動史

4 暴力をめぐる誤解——アクセス制限型から開放型の社会へ 73

5	国際社会で非属人（非属国）的秩序の実現は可能か	77
	アクセス制限型社会（自然国家）——人類にとつての普遍的な社会秩序	アクセス開 放型社会の出現
	国内類推の変更	

第3章 価値外交の系譜における「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」……山口 航…… 94

——紐帯としての価値と普遍としての価値——

1	FOIPの成立と起源	95
	二つの演説 「戦略」から「構想」へ	FOIPの受容
	「自由と繁栄の弧」	
2	冷戦期における紐帯としての価値の役割	100
	自由をめぐる対立	新旧日米安全保障条約と価値
	調 紐帯の手段としての価値	日米首脳会談における価値の強
3	冷戦後における普遍としての価値の役割	104
	普遍的とされた価値	政策面での結実
	国際的な潮流	普遍的価値の定着
4	価値外交の二面性	108

第Ⅱ部 地域・国際関係から見る「一带一路」

第4章 中国の「一带一路」イニシアティブに対するEUの視点……ラインハルト・ドリフテ……浅野 亮 訳……121

——関係国の対中政策の違いで揺れるデリスキング——

1 歓迎というより用心深く 121

2 EU・中国関係の冷却傾向 125

3 EU加盟国間における対中政策の違い 126

4 「グローバル・ゲートウェイ」——BRIへのEUの対応？ 130

5 グローバル・ゲートウェイ導入への障害 132

6 結論およびより広範な考察 133

第5章 「一带一路」構想における文化交流は何を目指しているのか……張 雪斌……139

——理解と信頼を勝ち取るための努力とその課題——

1 文化交流の意義 140

2 「一带一路」構想の概要と文化交流の戦略性 143

「一带一路」構想における文化交流活動の概要とその評価 習近平による説明から見る

「一带一路」構想と文化交流

3 「一带一路」構想における文化交流活動の内容と活動に携わるアクター 150

文化交流に携わる党、政府機関 文化交流活動の内容と規模

4	中国政府が目指す文化交流の特徴とその課題	156
5	文化交流はいかに中国の戦略に貢献しうるか	159

第6章 アメリカの国際秩序形成とパブリック・ディプロマシー……………松本明日香……………165

——歴代政権は何を行ってきたのか——

1	アメリカのパブリック・ディプロマシーの歴史的変遷	166
2	国際秩序をめぐるアメリカのパブリック・ディプロマシー オバマ政権 トランプ政権 バイデン政権	169
3	現代アメリカの対中パブリック・ディプロマシー 連邦政府のパブリック・ディプロマシー 二一世紀の新しいパブリック・ディプロマ シー アメリカの民間パブリック・ディプロマシー	179

第7章 ASEAN諸国と中国……………佐藤考一……………197

——「一帯一路」と南シナ海をめぐる攻防——

1	ASEAN諸国と中国の経済関係	198
2	ASEAN諸国における「一帯一路」(BRI)構想——高速鉄道プロジェクトを中心に 第1ルート 第2ルート 第3ルート 第4ルート	199
3	ASEAN諸国と中国の南シナ海紛争をめぐる現状	207
4	自由で開かれたインド太平洋(FOIP)構想	218
5	中国は外交政策を修正するか	220

第Ⅲ部 領域から見る「一带一路」

第8章 デジタルシルクロード構想と経済安全保障……………土屋貴裕…231

——中国は国際ルールづくりにいかに取り組んでいるか——

1 デジタルシルクロード構想とは何か……………232

2 「グローバル・データセキュリティ・イニシアティブ」(GDSI)の提唱……………235

3 国内におけるデジタル化政策——「デジタル経済発展計画」と「国家標準化発展綱要」……………237

4 国際ルールづくりのための外交上の取り組み……………239

5 デジタル分野における経済安全保障……………241

6 デジタルシルクロード構想の行方……………245

第9章 中欧間鉄道輸送は競争力を維持しうるのか……………松尾昌宏…249

——地中海海上輸送の発展と輸送選択肢の多様化——

1 アジア—欧州間輸送——陸路vs.海路……………250

中欧間貿易における、鉄道輸送の存在感 海運とのコスト競争力比較と補助金 中

欧班列を取り巻く環境の悪化 鉄道輸送はどの程度の内陸まで、競争力を保てるか

——北米大陸との比較

2 コンテナ物流革命と、海上輸送規模の拡大、港湾集荷の広域化……………256

輸送の標準化、貨物船の大型化と、貨物量確保をめぐる問題 インターモーダル輸送
の発展による、内陸後背地の拡大・広域化 トランシップ(積み替え)特化型港湾の

3	北西欧州から、地中海への交易ルートのシフト	260
	欧州海上物流をめぐる、中心地交替の歴史	地中海シフトの諸要因
	における、内陸後背地型諸港湾の急成長	中国のピレウス進出と、トランシップ・ハブとしての急成長
4	コスト削減かリスク分散か——中欧班列の存在意義	270
第10章 「一带一路」の地政学………浅野 亮………275		
	——「韜光養晦」から「大国外交」への変化の中で——	
1	一带一路の地政学的な意義	276
	問題の設定	研究の手法および資料について
2	分析——地政学と戦略環境認識	282
	「一带一路」以前の地政学	「一带一路」提唱当時の戦略環境認識
3	「陸海統籌」	290
	「陸海統籌」——陸か海か	対外政策方針と「陸海統籌」
4	地政学に関わるその他の議論	301
	解放軍および武警による分析例	「軍民融合」と「一带一路」
5	「一带一路」を理解するための分析方法	304

終章 「一帯一路」をめぐる日米関係と国際秩序……………村田晃嗣… 315

1 アメリカの対中政策の変遷 316

オバマ政権一期目 オバマ政権二期目 トランプ登場 バイデン政権 ウクラ
イナと中東

2 「国家安全保障戦略」の日米比較 322

アメリカ「国家安全保障戦略」 「安保三文書」 日米比較

3 日米の新政権と今後の課題 328

「またトラ」 米中関係の長期的趨勢 日米関係の行方

あとがき 335

人名索引